

秋深し、されど

参議院議員
客員相談役 藤井 基之



白玉の歯にしみとおる秋の夜の
酒は静かに飲むべかりけり

若山牧水の歌です。お酒の美味しい季節になりました。秋の夜長、牧水でなくとも「人の世に楽しみ多し、しかれども酒なしにして、なにのたのしみ」という心境の人は多かろうと思います。そういえば野田総理も酒豪であるところ、どこやらの新聞が報じておりました。

ところで、日本人は二日酔いする人が多いが、欧米人には二日酔いは少なく、しかしアルコール中毒が多い、と言われているがご存知でしょうか。実は、これ、科学的に次のように説明されています（最近では別説も出てきているようですが）。

お酒を飲んだあと、体内でお酒はどのように変化して行くかといいますと、まず、アルコール（エタノール）は身体を巡って酩酊感（酔い）を与えた後、

肝臓でアルコール脱水素酵素という酵素によって分解され、アセトアルデヒドという物質に変わります。さらに、そのアセトアルデヒドに、アセトアルデヒド脱水素酵素という酵素が働いて酢酸に、酢酸は水と二酸化炭素に分解され、尿などとして体の外に排出されてゆく、というプロセスを辿ります。

このアルコールの分解物質、アセトアルデヒドが血液中に残っていると、頭が痛くなったり、吐き気がするなど気持ちが悪くなる、つまり、二日酔いの症状が出てきます。

そのアセトアルデヒドを分解するアセトアルデヒド脱水素酵素の働きは、

人種によって違うと言われています。日本人などのアジア系の人種（モンゴロイド）と、白人・黒人系人種とでは、酵素の強さが違うのです。つまり、モンゴロイドはアセトアルデヒド脱水素酵素の働きが弱く（低活性）、一方、白人や黒人は、その働きが強いとされています。ですから、白人や黒人では、二日酔いの原因物質であるアセトアルデヒドが早く分解される。したがって、二日酔いする人が少ない、と言われていきます。日本人でも、お酒の強い人、弱い人がいますが、酵素の働きの強さの違い。全く飲めないという人は、酵素の働きがほぼゼロ。アルコールの分

解が進まず、酔っ払ってしまう。また、九州人、東北人には酵素の働きが強い人が多いそうです。そう言えば、酒は飲め飲め 飲むならば・・・という黒田節は福岡県の民謡ですし、アルコール濃度の高い焼酎は南九州での生産量が多い。一方、米どころ秋田などは、美味しいお酒の名産地。

しかし、白人や黒人の人は二日酔いが少なく、いくらでも飲めることから、かえってアルコール中毒になる人が多いそうです。そういえば、ニューヨークなどの街角では、しばしば、ウ

イスキー瓶を小脇に抱えたり、ラッパ飲みしている人をよく見かけます。

貝原益軒は、養生訓で、「酒を多く飲んで、飯をすくなく食ふ人は、命短し。かくのごとく多くのめば、天の美禄を以て、却て身をほろぼす也。酒を多く飲む人の、長命なるはまれなり。酒は半酔にのめば、長生の薬となる。」と言っています。

調理師の皆様のおいしいお料理をいただきながら、お酒を楽しみたいところですが、それは後回し。震災対策の本格的な予算編成のまっただ中、政治

家は、のんびりはしていられません。野田内閣は、「余計なことは言わない、はでなことはしない、突出しない」の「三ない内閣」だそうです。そんな「全運転」だけでいいのでしょうか。…今こそ、未曾有の大震災からの復興、経済復興、思い切った政策を大胆に打ち出して行かなければならない時です。

友酔はず 我また酔はず いとまなく
さかつきはし ころを温む
(牧水)

藤井 基之

- 生年月日 昭和 22 年 3 月 16 日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 2 回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ <http://www.mfujii.gr.jp/>
- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条
私の政策の柱は A(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告
参議院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。
- 経歴
昭和 37 年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
昭和 40 年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
昭和 44 年 東京大学薬学部薬学科卒業
昭和 44 年 厚生省入省
平成 9 年 厚生省退官
平成 9 年 財団法人 ヒューマンサイエンス 振興財団 専務理事
平成 12 年 日本薬剤師連盟 副会長
社団法人 日本薬剤師会 常務理事
平成 13 年 参議院議員 (1 期目)
平成 16 年 厚生労働大臣政務官 (平成 16 年 9 月～平成 17 年 11 月)
平成 19 年 日本薬剤師連盟 顧問
平成 22 年 参議院議員 (2 期目)
- その他
慶應義塾大学薬学部 客員教授
昭和大学薬学部 客員教授
東邦大学薬学部 客員教授
新潟薬科大学 客員教授
京都薬科大学 客員教授
近畿大学薬学部 客員教授
千葉大学薬学部 非常勤講師